

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年02月04日

計画の名称	南種子町における通学路の交通安全確保による安心安全な地域づくり（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	南種子町												
計画の目標	快適で活力ある生活空間の形成を図るため、通学路交通安全プログラムに位置付けられた通学路の安全対策が必要な路線の対策を実施し、歩行空間の確保等による安心で快適なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	470	A	470	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	道路管理者による通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。 道路管理者による通学路の安全対策が必要な路線に対し、対策を実施した割合 整備率（%）= 対策を実施した路線数（路線） / 安全対策が必要な路線数（路線） × 100	0%	50%	100%
2	当該路線において、通学路の安全対策が必要な整備延長に対し、対策を実施した整備延長の割合を100%向上させる。 当該路線において、通学路の安全対策が必要な整備延長に対し、対策を実施した整備延長の割合 整備率（%）= 対策を実施した延長（m） / 安全対策が必要な整備延長（m） × 100	0%	48%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	南種子町	直接	南種子町	市町村道	交安	生活道路対策エリア(中 之上地区)	生活道路対策	南種子町	■	■	■	■	■	250	-	
	A01-002	道路	離島	南種子町	直接	南種子町	市町村道	交安	(2)上中西之線・中之 上工区	歩道整備	南種子町		■	■	■	■	120	-	
	A01-003	道路	離島	南種子町	直接	南種子町	市町村道	交安	(2)本町共栄線・中之 上工区	法面对策	南種子町		■	■	■		100	-	
											小計						470		
											合計						470		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	32,544				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	32,544				
前年度からの繰越額 (d)	32,544				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	32,544				
うち未契約繰越額(g)	11,586				
不用額 (h = c+d- e- f)	32,544				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	67.8				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	設計図作成に時間を要したため				

事前評価チェックシート

計画の名称：南種子町における通学路の交通安全確保による安心安全な地域づくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑦十分な事業効果が見込める。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑧他事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑩地域の協力が見込める。	○
III. 計画の実現可能性	
⑪関連する団体等との調整が図られている。	○

(防災・安全交付金)

計画の名称	南種子町における通学路の交通安全確保による安心安全な地域づくり (防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	南種子町

